

類類倭歌集

友之二
巻八

和書門	
二七〇七五	類
一六	函
三六	架

内閣文庫	
二七〇七五	和書類
一六	函
三六	架

内閣文庫	
番號	和 27075
冊數	36 (8)
函號	201 14



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

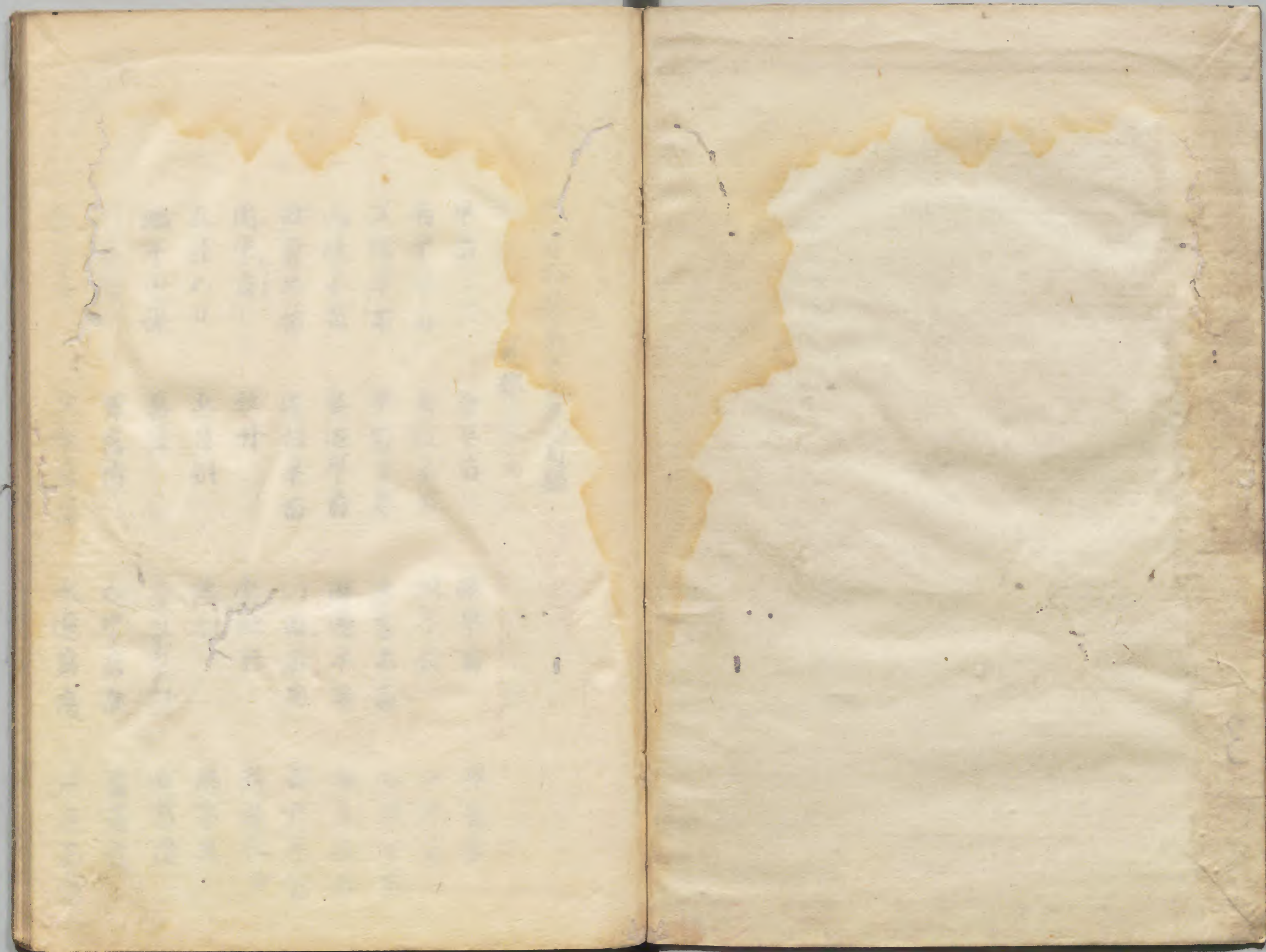
Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり
綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



數影和歌集卷第八目錄

夏郊

早苗

急早苗

採早苗

早苗多

雨中早苗

夏段早苗

羽早苗

夕早苗

夕採早苗

早苗日暮

薄暮早苗

山回早苗

山畦早苗

邑邊早苗

海邊早苗

海邊早苗

田家早苗

遠村早苗

川田早苗

氏戶早苗

園中苗

牡丹

堯牡丹

岸邊牡丹

五月八日

五月初

端午

端午真

端午述懷

菖蒲

菖蒲

菖蒲

夕採早苗

菖蒲

水中菖蒲

菖蒲

夕採早苗

夕採早苗

水邊菖蒲

江邊菖蒲

美濃國書

明治十二年購求

池菖蒲	池菖蒲	古池菖蒲	江菖蒲
江平菖蒲	沼菖蒲	沼色菖蒲	簷菖蒲
困菖蒲	袖上菖蒲	旅宿菖蒲	菖蒲
菖蒲	菖蒲初開	菖蒲几	菖蒲薰几
几上菖蒲芳	菖蒲中菖蒲	菖蒲病	菖蒲年久
曉菖蒲	曉文菖蒲	晴菖蒲	夕菖蒲
菖蒲晚菖	菖蒲苦菖	夜菖蒲	夜菖蒲
雨濕夜菖	海邊菖蒲	樓遠菖	花菖蒲遠菖
菖蒲散	菖蒲子低	双脚菖	故口菖蒲
隣家菖蒲	古宅菖蒲	庭菖蒲	闲庭菖蒲
而菖蒲	菖蒲迤而	菖蒲薰而	古而菖蒲
簷菖蒲	簷菖蒲	菖蒲簷	菖蒲薰簷

目錄表

菖蒲薰圍	菖蒲薰枕	菖蒲薰夜衣	菖蒲薰袖
菖蒲知首	對菖蒲回首	菖蒲香髮	旅宿菖蒲
寄花菖蒲懷	菖蒲	杜菖蒲	林菖蒲
山家菖蒲	望菖蒲	菖蒲誰家	戶外菖蒲
菖蒲散	梅雨	梅雨久	五月菖蒲
初五月菖蒲	五月菖蒲雲	初五月雨	夕五月菖蒲
夜五月雨	連日五月雨	五月雨長	五月菖蒲久
夕五月欲晴	五月雨晴	山五月雨	歲五月雨
溪五月雨	池五月雨	溪五月雨	杜五月雨
橋五月雨	池五月雨	江五月雨	江上五月雨
跳五月雨	河五月雨	海邊五月雨	湖中五月雨
浦五月雨	溪五月雨	破五月雨	浮五月雨

終年

竹葉 ちたすり斬てよあけの若葉のあやちまぬ月夜元 慎推也

端年興

赤葉 へしあふよのよなれてあやちまの若葉の葉と葉ん 葉道

臨年述懐

金 ちわちまの葉と葉ん 非整

昌蒲

日 ちわちまの葉と葉ん 法補

巳上日

千 ちわちまの葉と葉ん 前公の女

日

後拾 ちわちまの葉と葉ん 後拾

三

ちわちまの葉と葉ん 今月

五八

五

後拾 ちわちまの葉と葉ん 中書

日 ちわちまの葉と葉ん 宋書

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

後拾 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

日 ちわちまの葉と葉ん 龍大

あてあさり

赤葉

ちわちまの葉と葉ん 龍大

日

ちわちまの葉と葉ん 龍大

日

ちわちまの葉と葉ん 龍大

日

ちわちまの葉と葉ん 龍大

日

ちわちまの葉と葉ん 龍大

日

ちわちまの葉と葉ん 龍大

浪草蒲

千首 日新月のあさき浪乃知あてをひきかてあやめし 宋雅

浪色草蒲

拾五 ちとて引人しとあやめあむれ浪よそあやめ 益法

浪草蒲

白川友 山崎の朝乃志のまよきあつてあやめしとあやめ 雅志

あやめあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 雅志

あやめしとあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 雅志

浪草蒲

十首 附一あれは月の際の羽衣は波よほりあやめあやめ 任任

浪草蒲

十 如人引かつてあやめあやめあやめあやめあやめ 前中地

浪草蒲

新十 けをかきとあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 雅志

浪草蒲

新十 白ひらるるも波乃ア凡はる青とれとらうす人 前中地

後七 後をれ志のあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

後七 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

浪草蒲

後七 びうとあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

後七 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

後七 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

八

七

日 寄とよむ波て白ひらる一本うまとくあひあけと とも春

日 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

日 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

五 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

後七 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

後七 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

日 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

凡 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

新十 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

日 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

日 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

日 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

日 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

日 ありあつてあやめしとあやめしとあやめしとあやめ 相摸

日 ちのきいふくぬあけしつむ枝のうけはよりん 葉後
 日 ひのぬのふゆあやこりん凡はあけ乃ら花 葉後
 日 うくぬのここときそ自ふそ夏乃花れ朝のふむ 葉後
 日 吹凡乃あつしふは里まは花さむの自ふこ下 叶時
 日 ひうかしのふとつれ花さむは神とあけり 基後
 日 ちのそ花さむ乃らりあてきとふふふふいふ 肥後
 日 乃らりしむ枝乃自ふる味ひよふ神かかれと 河内
 日 ちのらりしむ枝乃まされし世をきさり切 信長
 日 我くこまされしむ枝乃ちと返りん 尺空
 日 枝乃若れ衣乃神のきさりしむそも非り悲りん 仁孝
 日 ちのらりしむ枝乃同し枝乃あててのち花れまむ 葛生
 日 いのちのち神のきさり枝乃ちやつふた世さし 三徳
 日 ちのらりしむ枝乃 自ふとあててきさり者あし ちのら
 日 ぬれいむ枝よとあてむの神れあてぬ人 葉後

夏八

八

夏枝花
 夏枝凡
 夏枝草花

夏枝花 ちのらりしむ枝のうけはよりん 葉後
 夏枝凡 ちのらりしむ枝乃ちやつふた世さし 三徳
 夏枝草花 ちのらりしむ枝乃同し枝乃あててのち花れまむ 葛生

夏静夏枝芳
 夏中夏枝

夏静夏枝芳 ちのらりしむ枝乃凡や若れ神とあてり 宋雅
 夏中夏枝 ちのらりしむ枝乃自ふる味ひよふ神かかれと 河内

夏橋年久
 夏橋

夏橋年久 ちのらりしむ枝乃自ふる味ひよふ神かかれと 河内
 夏橋 ちのらりしむ枝乃自ふる味ひよふ神かかれと 河内

魚

楸のよかハさうせハ少くはざる者なり此名もあらず一 冬

黒丸れぬ雅ハあて袖の着も楸のこのさき一 是後

今所ハ一鶴をくすてさうなるがまのきであげさ 日

われまゝの朝にほれ楸のせま方一 以老と結しつ 道老

千首

これやまの朽一朝の波かたさるるやこまゆき衣 公雅

千首

されうえわれ着とあつれはさくしゆの宿せ 一 玉 所美

溝衣魚楸

たらしまうら岐凡の白ひそむ楸とをふしうか 形後

赤着よりぬつろとまをれ白ひかたしへそさうさう 保野美

赤ひかたもまをれいふ一乃中かあはさるひまうん 忠彦

古宅魚楸

左楸

雨を楸

砌楸

魚楸近砌

全一

袖乃多そゆくとよ白ままの衣ちるをば若しひれて 基綱

わは跡を芝のまきりれまむやをば若れ若とよかたん 比羅

形をまむさるむの夕凡あさうかあわれあは 長法

一八

十

魚楸薙砌

赤集

楸のこすなることよ白まもあさる神とさるる 長季

右靴魚楸

簪楸

簪魚楸

楸薙簪

魚楸薙簪

魚楸薙国

魚楸薙枕

魚楸薙枕

魚楸薙夜衣

楸薙枕

魚楸薙枕

魚楸薙枕

赤集

文明

玉取

於玉古

十

楸

魚楸

むし一杖ひかてさくさむむ楸け朝のふかひに 長法

うらうらむ楸のりけあきて思ひ解とこと今まれつ 一 長法

おしとわれむ楸のりけあきて思ひ解とこと今まれつ 一 長法

あ乃萩いさか楸の白すり楸さるるの端居とやまん 長法

身まとあつらひや若楸乃白ひよわさるる萩はし 長法

うらねの萩は衣よさるるの若も有れ朝乃まむ 長法

まよりてちくさやうさる楸れさる朝れさるむ 長法

稿知皆
對稿同音

通稿終表

張宿稿

若花楸述樓

家中
集社

千首
千首

世のうらみ者ころろあとして花楸よらひ出りや
ふ月と花とらうきこす冬はあまのり花を志はれて
ふのまの葉のわらわのすあひらうら花楸た月
秋もまきのの木のそとてはあまのり花を志はれて

定家
の家
の尹
耕之

反八

十一

杜構

林構

山家構

里構

構誰家

戶外構

構教

構雨

構否

五月五

段表
曰
曰

やうむいのかむれ乃とちまのつゆと清しうらむい
みりぬいそく小まの葉をわらわのり花のつゆと
つゆとまきのの木のそとてはあまのり花を志はれて

お模
葉集
か
撰集

草

これと又みくさうは本後ゆわらうらむい花を志はれて
あつたぬいそく小まの葉をわらわのり花のつゆと

宋推
の家

凡

いふのきつは乃若植あみ載てあまうりあかりぬりは

はるかか
ん太

新千

さしこれのえんはくも阿しあれねよとせ布引は

今分秋
老茶

日

あまににほまきくひりま城のくむれ下くくさりぬりは

中務
老茶

日

きてりあめさくくはあき川あまめれあ月ぬりは

肥後
老茶

日

かりぬい何きくくはあき川あまめれあ月ぬりは

右太
老茶

凡十五

晴すあはんのうらけくいとやまをくはくともあ月ぬりは

肥後
老茶

日

みくれて志せくはくともあ月ぬりは

肥後
老茶

日

かきくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

凡

十四

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

日

あまににににににににににににににににににににににに

肥後
老茶

初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

五月五日 初五月初 五月五日 初五月初

八

十五

連日五月雨

連日五月雨 連日五月雨 連日五月雨

五月長

五月長 五月長 五月長

五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

五月久 五月久 五月久

青森秋晴

日
わらわらふさふさの秋の空とくわくわく月夜を
修徳

五月雨晴

又書
日
五月雨の衣を脱ぎつる日の神さきさきとわらわら
所望
入去
先き上
五月雨の衣を脱ぎつる日の神さきさきとわらわら
政の

五月雨

日
五月雨の衣を脱ぎつる日の神さきさきとわらわら
政の

花五月雨

身
五月
五月雨の衣を脱ぎつる日の神さきさきとわらわら
政の

溪五月雨

凡
五月
五月雨の衣を脱ぎつる日の神さきさきとわらわら
政の

文八

五月雨

五月
五月雨の衣を脱ぎつる日の神さきさきとわらわら
政の

狂歌

狂歌

湖五月雨

狂歌
七首

つらつらのふみとらけはこころあつらふりぬのけ 歌堂

十首

やうぬよまをよむのこころは海をたぐはげふし 耕三

十首

まねばやまをりけり多き高き今はけし 一平 雨尹

十首

さあや八十のみをくもあこころ 一平 雨尹 宋推

浦五月雨

狂歌
十首

田子此浦やわぬ測るる月を 唐平 雨尹 宋推

候五月雨

狂歌
七首

候ころまのまの枝は枝ぬへ 日教 雨尹 宋推

仙家五月雨

狂歌
十首

候ころまのまの枝は枝ぬへ 日教 雨尹 宋推

山家五月雨

狂歌
十首

候ころまのまの枝は枝ぬへ 日教 雨尹 宋推

十首

候ころまのまの枝は枝ぬへ 日教 雨尹 宋推

閑居五月雨

狂歌
十首

月清上 朝らつたまをこれあそぶよのうそこのころは月夜 雅彦

雨申五月雨

狂歌
十首

雨申 朝らつたまをこれあそぶよのうそこのころは月夜 雅彦

左巻五月雨

狂歌
十首

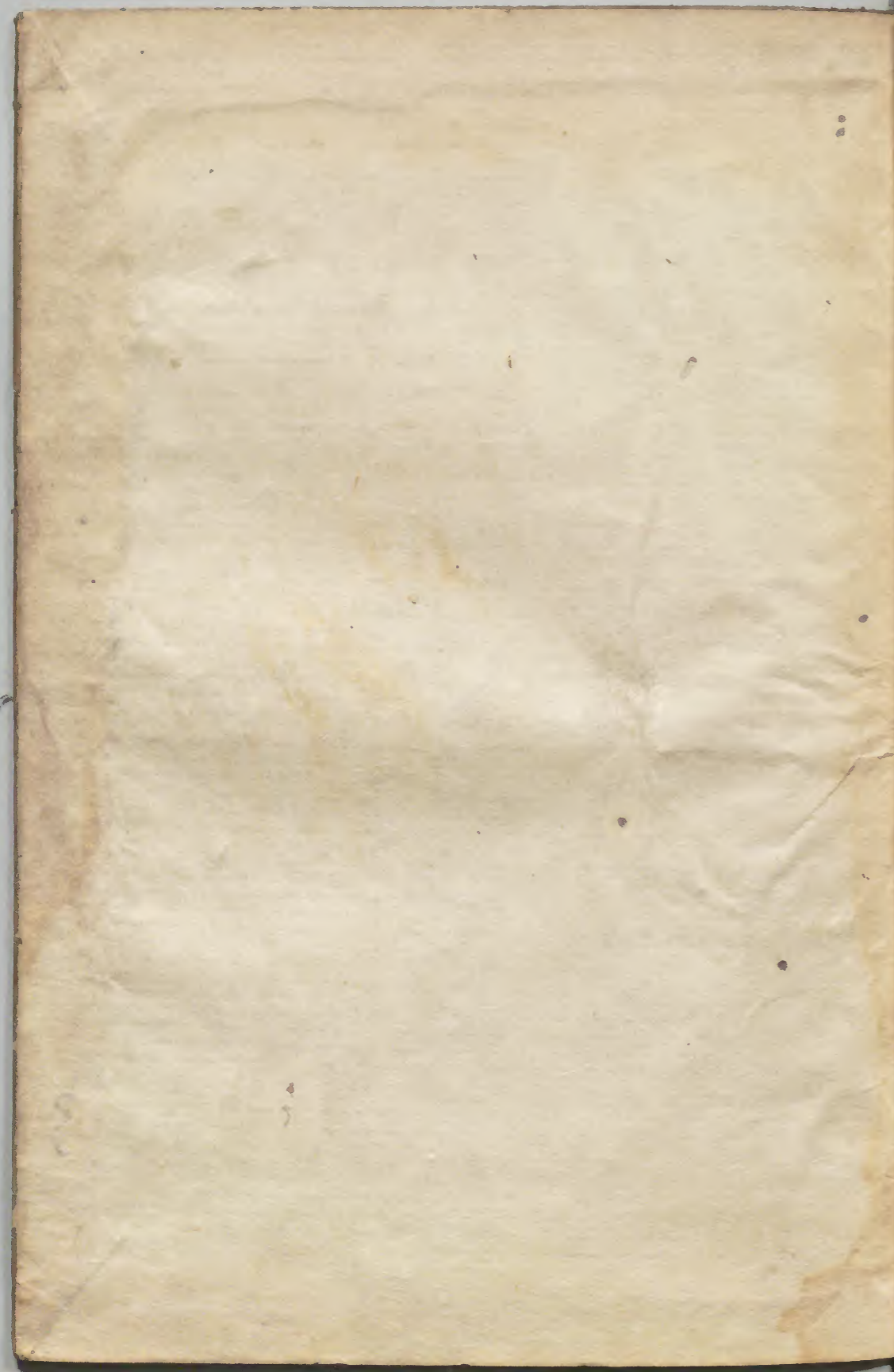
左巻 朝らつたまをこれあそぶよのうそこのころは月夜 雅彦

右巻五月雨

狂歌
十首

右巻 朝らつたまをこれあそぶよのうそこのころは月夜 雅彦

信本社 候ころまのまの枝は枝ぬへ 日教 雨尹 宋推



Handwritten text in vertical columns on the right page of an open book. The text is written in a cursive style (sōsho) and is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side. A large red square seal is stamped over the text in the upper right quadrant. The seal contains characters in seal script (shōmei), which are difficult to decipher but appear to include the characters '印' (Seal) and '白' (White).

